

2019・中学校「星の旅人：伊能忠敬と伝説の怪魚」

この本を選んだ理由は、だからです。

伊能忠敬については、少しだけ知っていました / あまり知りませんでした / 話を聞いたことがありました /
本を読んでみて、だと思いました。 / と感じました。

江戸時代に地図をつくるということは、
だと思いました。

もし私が忠敬の測量隊に入って蝦夷地（北海道）まで旅をするとしたら、
だと思いました。

蝦夷地（北海道）でヒグマにおそわれた場面では、（もし私なら）だと思いました。 / と感じました。

私が一番好きな登場人物は○○○○○です。なぜなら、
だからです。

一番好きな / おどろいた / 感動した 場面は です。

なぜなら、だからです。

最後に平次は蝦夷地に残る決断をします。私は / 私なら / もし私が平次 / 忠敬なら
するだろう / しないうだろう と思いました。

忠敬は、一次測量で奥州街道から北海道東南部を測量し、二次測量で太平洋側の関東・東北地方東部を測量
します。三次測量で日本海側の東北西部を測量します。四次測量は東海・北陸地方を測量します。毎年のように
測量の旅にでかけて、その成果を「日本東半部沿海地図」としてまとめます。その後西日本の地図も作られます。

私は測量して一から地図を作ることは、だと思いました。 / と感じました。

いま私たちがあたりまえに地図を使って、便利に生活ができる / 道に迷うことがない ことは
だと思えます。

本を読む前は、江戸時代の話 / 遠い昔の自分には関係ない / むずかしい話 / 共感できないかな と思ったけど、
この本を読んだことで、昔の人が作り上げたことで私たちの生活が豊かになっているということがある
と思うように / 考えるようになりました。たとえば、（身近な道具や技術など / 車、電話、テレビなど）は、
技術が向上する / 品種改良する / 精度が上がる ことで、より豊かな生活ができているのだと思いました。

そして、今後自分が学んで、さらに技術が向上 / 品種改良 / 精度を上げることで、これからの人たちの生活を
だと思いました。 / と感じました。